

1. 園の教育目標

- ①明るく ②心ゆたかに ③たくましく

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

子ども主体の保育を進めていく  
園内の環境整備に積極的に努める  
異年齢交流の充実を計る

<p>【3】の評価結果の表示方法 A 十分達成されている B 達成されている C 取り組まれているが、成果が十分でない D 取り組みが不十分である</p>
---

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	A	B	C	D	計	理由
<p>◎子どもが主体的に取り組める保育ができたか？ ・子どもの主体性を尊重し見守りながらやってみたいという意欲や興味が高まるようにする。 ・体験したことを振り返って、興味を深め、次の遊びや活動を広げていく。</p>	1	11	5	0	17	<p>・コーナー遊びでは、それぞれに作りたいコーナーに積極的に参加する子と、しない子にわかれてしまうので、消極的な子にも興味を持てるコーナー作りを今後工夫していきたいです。 ・自由遊びでは園庭にもとび箱等をだしていたり製作ができれば材料をもらったりとしたいことができる環境ができていた。 ・各行事を通して、子ども達が色々考えて行動している姿が充分に見られたと思う。それぞれの学年がその様子を見て、励みになったり、やる気を起こさせたりしていたように思う。 ・発表会や劇だけでなく日頃から子どもが主体となっていた遊びや活動ができていた。 ・クラス活動では、子どもたちがやりたいものをしたり、そこから広げた活動までできたので楽しんで取り組むことができた。 ・昨年度よりも製作など子どもが自分で選んで作ることができていると思います。少・中でも長くつながるようにしていかないといけないと思いました。 ・カリキュラムの見直しや、子どもが自分で考えて取り組む活動も増えてきているが、カリキュラムに捉われ、継続した保育になっていない。 ・自らやってみたいと思えるような環境作りを心掛けているので言葉掛けがなくても友達と挑戦し合う姿も見られていました。 ・保育者がすべてやることを決めるのではなく、選択肢を与え、自分から考えたり決めたりしたことが実践できる機会が増やせた。</p>
<p>◎落ち着いた生活環境作りができたか？ ・部屋の掲示・図鑑の活用 ・夢中になれる空間を整える</p>	4	3	10	0	17	<p>・部屋でも積木のコーナーがあったりままごとコーナーがあったりコーナー遊びで、できることが分かれてあり楽しむことができていたと思う。 ・ままごとや電車・つみ木で遊ぶスペースは作れるが、ゲームなどで遊ぶ空間は作れていたかどうか・・・？絵本を落ち着いて見れる空間はないと思う。 ・各年齢に適したおもちゃの種類・量も充実しているし、そのおもちゃの種類によって、限られた中で、部屋の空間も工夫されていて、良いと思う。ただ各部屋の絵本がもう少し整理されていればと思った。 ・子どもの様子に合わせて環境を作っていた。 ・季節や行事に間に合わせた掲示を行ってきたが十分とは言えない。 ・子どもの遊ぶ姿に合わせてすぐに必要な物が取り出せる環境作りが不十分だった。 ・虫がいたときは図鑑を取り出して、どの虫なのかを調べる姿があった。部屋の中を落ち着いて過ごせる環境をもっと作りあげていきたい。 ・部屋の掲示板などはずしたり、環境を整えようと心掛けているが行事の練習などでバタバタすることが多く、そのままになってしまっているときもある。 ・良いと思う部分はあったが、継続が難しかったと思う。 ・その時の子どもの興味に合わせた掲示ができていなかったり、整理されていない部分もあった。</p>

<p>◎異年齢交流によって、異年齢に対しての気持ちが育ったか</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢の関わりを定期的に入れる。</li> <li>・活動や生活の中で関わりのきっかけ作りをする。</li> <li>・幼児の興味や状況を3学年で共有し、報告しあって活動の内容を工夫する。</li> </ul>	4	4	9	0	17	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年長、年中と一緒に遠足へ行った時は年下の子を気にかけている姿もみられた。レストランごっこでは年長児はメニューや飾り付けも考えてやり終えた時には達成感を持つことができていたと思う。</li> <li>・レストランごっこでは、ウエイトレスになって運んで来る年長児の姿に憧れを持つ子もいた。年中児とのピアノでは出し方から教えてもらったことにより自由時間にピアノを使う子が増え、持ち方を真似る子もいる。本堂へのお参りで3学年たてわりクラスで入り、正座の仕方や手を引いて仏様に近づくことを優しく誘導してくれる姿に成長を感じた。</li> <li>・たてわりでの活動が増えてはいるが期間があいてしまうことが多かった。</li> <li>・クッキングなどで、たてわりでの取り組みも増え、楽しむ姿を見ることが増えたように感じた。</li> <li>・たてわり活動がイベントにかたよりがちだったと思います。</li> <li>・不定期に取り組んできたが、生活面などの交流や子ども達が自ら交流するような関わりまで持てていなかった。</li> <li>・昨年度よりかは異年齢の交流を増やし、ペアを作ったことで、相手の名前や顔を覚える子が増えている。年長・年少との関わりがあまり持てず、活動として少ないため、年少児に対しての気持ちが少ないと思う。来年度、もっと定期的に活動していきたい。</li> <li>・本堂へ行くときやピアノをするときなど定期的に入れることができ、その中で年下の子へ接する優しさ、お兄ちゃんお姉ちゃんみたいになりたいという気持ちが芽生えたのではないかと思います。しかし、報告し合うことができていなかったのも報告し合い色々なことを共有できれば良いなと思いました。</li> <li>・行事が重なる時や学年毎に忙しくなる時が違う為”3学年で”となるとできていなかった。</li> <li>・今年、一年間通してペアの子と関わるという取り組みをしたことで、相手のことを覚えお互いが意識している姿が見られた。また、生活の中で「これ見せてあげたい」などの気持ちを持ち、積極的に関わろうとする姿が見られた。</li> </ul>
--	---	---	---	---	----	--

#### 4. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み
主体的に取り組むために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが、自分でどのようなことがやってみてみたいかを出せるように色々な案や話をして自分のしたい事を思い描きだせるようにする。</li> <li>・今年色々やり方を変えているが、他学年の取り組みは客観的にしか見れていない。縦のつながりも踏まえて共通理解をできるように報告する。</li> <li>・子ども達の意見を大切に実現する。</li> </ul>
異年齢保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでと同様、午後からのコーナー遊びは継続しつつ、月に一度「なかよしの日」など日を決めてその日に設定されたコーナーで各自好きな場所を選び、遊べるというのはどうだろうか。</li> <li>・その中で年長が簡単な準備や片付けを手伝ったり見本をみせるなど家庭で兄弟が遊んでいるような環境を作ってみてはどうだろうか。</li> <li>・チームがしっかり活動する。たくさん的人数で考えていこうとしたが、皆が人任せになってしまったので、もう少し少ない人数で責任を持って考えていく。</li> <li>・自然と関わりが増えるよう、保育者が積極的に声をかけ意識できるようにする。</li> <li>・行事的な交流が多かったので生活面での関わりや、子どもが自然と交流できるような働きかけを考えていく。</li> <li>・時間差に分けてたてわりクラスのコーナー時間を決める。年長→年中→年少とコーナーへの誘いかけ</li> <li>・曜日を決めて給食と一緒に食べるなど定期的に取り組めるようにする。</li> <li>・一学期以降も関係が密になる取り組みが持てるようにはおはじまりだけは一緒になど取り入れていくなどする。</li> <li>・言葉などだけでなく、たてわり競技を増やしたりできたら楽しそう(縦割りリレーなど)</li> <li>・年間カリキュラムなど卒園までに育てたい姿に向かって、継続したカリキュラム作りをする。</li> </ul>
図鑑や絵本の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味を深めるために気になったことや分からないことがあれば自ら調べようと思えるように環境を整える</li> </ul>
保護者への発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育内容のねらいや取り組みへの保育者の思いを参観やHPを使って、もう少し保護者に伝えていく</li> <li>・保護者が園の様子がもっとわかるように毎日ぐらいい全体をアップする。</li> </ul>
自然(食べ物、植物)への関心を深める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間があるときにははとんどん観察をしにいっく。クッキングを用いて関心を深める。また部屋に提示する。</li> </ul>
環境作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広げておける場所、配置を見直していく。子どもが必要な物を自分で選べる環境が各クラスに用意できると良い。”あおぞら”も品薄な時があるらしい・・・</li> <li>・年4回学年で玩具交換をしているが、発達によって遊ぶ玩具が変わるのでもう少し回数を増やすか、時期によって出す玩具を変えるようにする。</li> </ul>
幼児の体力向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修で得た知識をもっと活用し、遊びとして取り入れ、空いた時間をうまく活用する。</li> <li>・戸外だけでなく、室内でも走ったり跳んだりするコーナーを取り入れ、十分に体を動かせるようにする。</li> </ul>
防災・防火訓練	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間や配置などいつも決まっているので、いざという時に困る。色々なパターンでやったり、事前の打ち合わせなしでやると色々な反省がでると思う。</li> </ul>
体験したことを次への活動へと発展させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども達がしたい取り組みをいつでもできる環境を整えておく。</li> </ul>